



Go Playing Fellowship  
of Rotarians

ロータリー囲碁同好会

## NEWS LETTER

No. 24

2014年5月20日 発行

HP <http://www.gpfr.jp>

### 台湾が悲願の優勝杯

<第15回ロータリー国際囲碁大会>

初参加の篠原三段（福岡中央）が唯一受賞に



開会式で3チームの役員、対局者、ご婦人方と記念撮影。黄色いタスキは受付とSAAをお引き受けいただいた地元桃園のロータリアン（2014年5月20日 台湾・中歴市のホテルで）

## 「友」6月号親睦特集をご覧ください

「ロータリーの友」6月号に GPFR の紹介記事が掲載されます。昨年は親睦活動月間の特集として2ページにわたり GPFR を写真3枚を使って紹介されました。今回も、各ロータリー親睦団体を紹介する中で、日本最初の RI 認証団体でオーストラリアにも拡大を図る GPFR の活動を取りあげる企画だといいます。クラブ内の友人に「友」を手にしにしながら、GPFR の勧誘をお願い致します。

---

## GPFR ブースを設置

### 14‘シドニーRI 国際大会の「友愛の広場」に

5月31日から4日間、オーストラリア・シドニーで開催の RI 国際大会の期間中、友愛の広場に GPFR のブースがオープンします。新藤支部長と金澤理事が地元ロータリアンと共に、GPFR 活動の紹介と会員の入会を呼びかけます。ブースは70番。3m×3mで英文の囲碁パンフレットを配布し、折りたたみの盤面も用意して、アピールします。これは、大阪 RI 大会について2回目。さらに、2016年の RI 国際大会は韓国で開催されますので、ブースのほか囲碁大会も企画しております。

---

## 台湾囲碁大会に30人が参加登録



4月20日の表彰式後に、2列目中央の石井良昌 GPFR 会長を囲んで。石井会長の左隣りは理事の宮本一 PDG、右は日本支部長の新藤信之 PDG。女性陣は大会役員と参加者のご家族。最年少は2列目左から2人目の19歳、大学生の貴田沢さん(台湾・桃園市のローズガーデンで)

## ＜第15回ロータリー国際囲碁大会結果＞

於2014・5・20台湾・中歴市

### 上級者クラス(四段以上) 甲組

優勝	李 奇拔六段(台湾・八徳 RC)
準優勝	黄 崇佑六段(台湾・西區 RC)
3位	鄭 然吉六段(韓国・大邱囲碁 RC)
4位	張 智皓六段(台湾・經國 RC)

### 下級者クラス(三段以下) 乙組

優勝	趙 漢傑二段(韓国・大邱囲碁 RC)
準優勝	游 長和初段(台湾・大園 RC)
3位	篠原 隆三段(福岡中央 RC)
4位	方 子傑二段(台湾・桃園 RC)

---

## 台湾が甲、乙2クラス共に大躍進

### 地元ルールに日韓チームは戸惑い？

---

RI公認の親睦団体、ロータリー囲碁同好会主催(GPFR)の「第15回ロータリー国際囲碁大会」は4月20日(日)、台湾・桃園国際空港に近い中歴市のリゾートホテル南方荘園渡假飯店で行われました。

大会登録者は日本から30人、韓国から8人、地元台湾は14人となりました。日本チームは6ページに紹介のある通り、石井良昌 GPFR 会長(尼崎西)、宮本一理事(芦屋)、日本支部長で初段の新藤信之理事(東京立川こぶし)をはじめ大会役員と、対局者、その同伴家族です。また、対局中は役員と家族を対象にした一日観光が用意されました。

大会は20日午前8時30分に大会場とは別の宴会場で開会式が行われ、石井会長の点鐘で始まり、国歌斉唱のあと、台湾チームを代表して支部長の游長和二段(大園)が開会宣言。石井会長は冒頭に「私は第1回から連続参加しており、碁盤を通じて国際交流と親睦を図る GPFR 活動が年々交流の輪を広げ、発展拡大していることに喜びを覚えます。各国の支部長さんの並々ならぬご努力が実ったものです。来年も新たな友人を誘って、ぜひ東京でお会い

しましょう」と、次回開催地を東京と発表しました。

続いて地元より、第 3500 地区の陳弘修ガバナー、蘇家明・桃園市長、ホストクラブの桃園 RC 会長の挨拶がありました。

新藤日本支部長は 5 月 31 日から 4 日間、オーストラリアの首都シドニーで開催される RI 国際大会で会場内の「友愛の広場」の一角に GPFR のブース (70 番) を設け、碁盤を用意して PR に務めることを披露するとともに「シドニーでも会いましょう。70 番でお待ちしております」と呼び掛けました。

韓国の李在允支部長は今回に限って他のロータリー行事の用事でやむなく欠席したため、代理で玄哲泳六段 (大邱囲碁) が「優勝目指して精鋭を連れてきました」と、支部長不在をバネにして早くも優勝宣言。韓国の参加者はソウルからの一人を除き、すべて大邱囲碁 RC のメンバーで、強すぎる玄六段ら二人は余裕のオブザーバー参加でした。

大会実行委員長の蔡季堯六段 (福宏) から「大会は 2 クラスにして台湾ルールにより行われる。必ず判定員によって勝敗を決めるので、投了しない限り盤上に手を入れて数えることはしないように」と、くどいように注意がありました。

日韓間ではルールにあまり差はないのですが、台湾ルールでは勝敗の判定に判定員が立ち合って目を数えるのです。それも盤上の黒石を基準に目を数えるので、判定員が石を無造作に動かすのを見ていて、何がなんだかサッパリ訳が分からなくなるのです。日本のルールでは、やってはならないことが、目の前で繰り広げられるので驚きと不安を増長します。

勝敗の結果は同じになるそうですが、注意すべきは終局と思ってダメを勝手に詰めないことです。交互に詰めて行けばいいけれども、連続して石を置くほどに目をなくす結果を招きます。習性で、つい無意識にダメ詰めしたならば、行って来いの大損になります。

もうひとつ、台湾大会ならではのユニークなことがあります。来賓の地元市長がお祝いを包んで来ることです。いぶかることですが、毎回見る光景なのです。

加えて、台湾のロータリークラブの習わしには、会員同士はニックネームで呼び合います。初代台湾支部長の楊敏盛一級 (桃園) は大病院の理事長ですからメスの意味合いで「ナイフ」、台湾のエヴァ航空を率いる長栄財閥を一代で築いた游二段はパイロットの意味で「キャップ」と呼ばれています。

## 游長和・台湾支部長が初の受賞

開会式終了とともに、碁盤を並べた会場に移って、9 時 30 分から決戦に。対局者は上級者四段以上の甲組と、三段以下の乙組とに別れて、審判員の指図に従って対戦者と席を指定されます。午前中で 2 局、午後の 2 局の対戦で、スイス方式によって順位が決定されます。

日本チームは午後に進むほど元気を失い、今回は韓国ではなく、地元台湾チームの躍進が目覚ましく、勝利する程に台湾チームの歓声が響きました。

中でも、ロータリー世界囲碁チャンピオンを争う甲組では、優勝経験のある韓国の鄭然吉六段 (大邱囲碁) が台湾の李奇拔 (八徳)、黄崇佑 (西區) 両六段のワンツーフイニッシュを許しての完敗。昨年の韓国大会の優勝者、わが塚本利光五段 (東京京浜) も慚然の表情に。

なんと台湾は上位4人のうち、3人が受賞してしまいました。もちろん15回の歴史上、台湾の優勝者は初めてで、上位二人の独占にも驚きました。

これは、乙組でも同様で、段位差のある韓国チームが下位クラスでは常勝を誇っていたのですが、台湾は今回、上位4人の中で2人が2位と4位を占めました。それも、游支部長が準優勝という華々しさでした。

特筆すべきは、福島隆三段（福岡中央）が乙組3位になったことです。初出場での快挙でした。この受賞がなければ、日本チームは大会始まって以来の屈辱を味わうところでした。やはり、台湾ルールに日韓両チームは、戸惑いと落ち着きを失ったと思うのです。

大会競技中に、同伴者のためのバスツアーが企画され、台北近郊の景勝地、淡水を訪れました。浜辺で美味しい酒と肴、台湾料理を堪能したようです。皆さん、一様に喜んでおられました。

対局終了後は、バス2台で桃園市のローズガーデンに移動しました。庭にバラが咲き誇り、玄関でオーナーの楊敏盛先生と社長のJUDYが迎えてくれました。JUDYは私達の世話役で、大会の裏方で汗を流し、会場では場を盛り上げようと奮闘している、いわば大会運営の実質の責任者なのです。お土産交換では、参加登録者だけではなくJUDYにもお礼を手渡ししております。

この席で驚いたことがありました。日本チームの上段者が壇上にいる蔡大会実行委員長を見て言うのです。「あれは誰か？」

聞けば、対局中に突然、指し手を止めて「こちらに打ちなさい」と指図するそうです。待ったに甘えて指し直して打っていたところ、勝ちまで譲ってくれたとか。上級者の3人がそう証言しますので、蔡六段を席に招いてお礼を言うと、蔡六段は「わたしはコーチです」というのです。清々しい人でした。

（日本支部幹事 太田清文）

---

## 12年ぶりに東京・日本棋院で開催へ

### 「第16回ロータリー国際囲碁大会」

台湾大会前日に開かれたGPFR本部の会長・支部長会議で、次回開催地は東京に決定しました。これを受けて、新藤支部長が帰国後直ちに開催場所を検討した結果、2015年5月16日（土）に東京・市ヶ谷の日本棋院（2階大ホールを予定）で開催することに決まりました。

また、会場近くのホテルを15、16両日に海外と国内参加者の宿泊ために最大限、確保しました。来春にまず会員に向けてご案内致します。8ページの全国大会のご案内も参考にご覧ください。

日本での国際大会の開催は2003年3月の「第3回東京大会」以来12年ぶり。これまで、

第 2680 地区大会の公式行事として神戸市のポートピアホテルを会場に開催してきましたが、故あって東京に会場を移すことになりました。石井会長はじめ 2680 地区の役員の皆様、お疲れ様でした。また、これまで誠にありがとうございました。

東京開催にあたっての難題があります。これまでの各国での国際大会は、前日に歓迎晩餐会、大会対局中に同伴者のためのバスツアー、表彰式後の送別懇親会を行っていましたが、参加登録料だけでの運営は経費上困難のため、大会は 16 日の終日として、歓迎晩餐会とバスツアーを廃止することになり、上記会議の席上で各支部長に了承を得ました。

このため、来年 5 月の東京国際囲碁大会は 16 日 9 時に開会式、18 時 30 分から表彰式と送別懇親会を行うことになりました。日程に変更があることも、お含みおきください。

## 石井会長が当面、任期継続に

台湾大会前夜の GPFR 会長・支部長会議で、石井会長は 2011 年 7 月に会長就任し、3 年間の任期を経て、2014 年 6 月に退任の予定であったが、後任の游長和・台湾支部長（80）が高齢を理由に辞退された。

この後任について協議した結果、次期会長は韓国の李在允支部長が適任との結論になりましたが、李氏はこの日、RI 会長代理として他の行事に出席されたため、李氏の承諾を得てから、正式に会長に就任されることとなりました。これにより、石井氏が当面、会長職を継続することになりました。

## 台湾囲碁大会参加登録者 30 名（敬称略）

（2014 年 4 月 19～21 日）

①GPFR 会長 PDG 石井良昌（尼崎西）②石井恵美子③PDG 理事 宮本一（芦屋）④宮本陽子⑤日本支部常任委員 中島貴美子（尼崎西）⑥2680 地区役員 井上高文（篠山）⑦日本支部常任委員 富本東平（淡路中央）⑧日本支部常任委員 井上規代子（加古川平成）⑨石井会長通訳 黄智宣⑩5 級 尾澤文貞（東京高輪）⑪望月敏子⑫初段 横塚克明（E-club）⑬初段日本支部幹事 太田清文（東京）⑭初段 PDG 日本支部長 新藤信之（東京立川こぶし）⑮二段 平井收（大坂金剛）⑯平井恭子⑰三段 貴田収（小松島南）⑱貴田沢⑲三段 篠原孝（福岡中央）⑳三段理事 永田博巳（加古川平成）㉑三段 梅田英樹（豊橋ゴールデン）㉒五段 福島悟（高島）㉓福島孝枝㉔五段理事 金澤拓平（東京青山）㉕五段 岡本久永（豊橋ゴールデン）㉖五段 大島達治（仙台）㉗五段 足立盛二郎（東京銀座）㉘足立幾子㉙五段 森和彦（東京銀座）㉚五段前年度チャンピオン 塚本利光（東京京浜）

対局者 16 名 役員と同伴者 14 名 ミニ観光参加者は 12 名

（国際大会ルールとして韓国と日本では段位差があるため、日本の最高位は五段で登録）



石井会長（右端）から台湾に初の「囲碁名人」優勝杯を手渡された李六段（左から 2 人目）。台湾はワンツーで黄六段も初受賞に。左端は 3 位と涙をのんだ元チャンピオンの韓国・大邱囲碁 RC の鄭六段。



左端は初級者クラス 3 位に輝いた篠原三段。昨年の塚原五段の世界一奪取という勢いに反して日本チームで唯一の受賞者に。右から 2 人目がエヴァ航空を率いる台湾長栄財閥の総帥、游長和初段。支部長としての重責を果たしながらの初受賞でした。



開会式。左から韓国支部長代理の玄哲泳六段、新藤日本支部長、游台湾支部長。石井会長の右隣りは歓迎挨拶に駆けつけて頂いた第 3500 地区の陳弘修ガバナー。



優勝の美酒に酔う台湾チーム。来年は開催地東京でお会いしましょう。

対局は桃園国際空港近くのホテル宴会場で。中央は台湾の楊敏盛・元 GPFR 会長。今回も即興で書をしたためて参加者にプレゼント。私も一筆いただきました。



開会式前夜の歓迎晩餐会。こぶしを利かせた演歌で盛り上がったのジェンカ。先頭は台湾の世話役 JUDY さん。

## 秋の全国囲碁大会のご案内

「第13回ロータリー全国囲碁大会」を下記のとおりで開催いたします。全国大会の参加申込書と振込み用紙をこの会報と一緒に同封しますので、お確かめください。

参加ご希望の方は「参加申込書」にお名前等を明記してFAX(03-3452-1652)でご連絡ください。お問い合わせがありましたら、FAXにてお願い致します。ご連絡を受けて、日本支部よりFAXで返信致します。ご家族のご参加も歓迎します。

この全国大会の各クラス入賞者は、来年5月16日(土)に東京で開催します「第16回ロータリー国際囲碁大会」(定員100名)に優先して出場できます。GPFRはRI認証団体ですので、大会参加はメイクアップとなります。

### <記>

日時	平成26年10月11日(土)10時開会16時まで
登録受付	午前9時30分より
会場	東京・市谷の日本棋院会館1階
ルール	3クラス早碁戦 コミ6目半 計時制
登録料	7000円(賞品、昼食等を含みます)

## 年会費納入のお願い

ロータリアンの囲碁仲間をGPFRにお誘いください。新規入会のお申し込みは、ご本人の地区、クラブ、氏名、年齢、級段位、紹介者を明記して所属のクラブ事務局を通じてFAXで下記のGPFR日本支部宛に送信をお願いいたします。年会費2000円。入会金はありません。GPFR活動、会則についてはGPFRのホームページ<http://www.gpfr.jp>をご覧ください。

年会費を同封の郵便振替用紙(口座番号00100-0-427835 ロータリー囲碁同好会宛)をご利用のうえ、2014-15年度会費分として6月末までに2000円をご送金ください。

また、10月16日(土)の「13回全国囲碁大会」にご参加ご希望の方は同封の郵便振替用紙の通信覧に、「全国大会参加」と明記して大会登録料7000円を会費2000円に加えて計9000円を送金してください。申し込みの締め切りは10月3日(金)。参加申し込みを受け取り次第すぐに大会参加要領をFAXでお知らせ致しますので、ご自宅等のご連絡先のFAX番号等を必ずお書き添えください。なお、振込み手数料(100円)はご負担ください。GPFRは皆様の会費で運営しておりますので、何卒、会員の増強と会費の納入のご理解とご協力をお願い致します。

〒104-0031 東京都中央区京橋 2-11-8 全医協連会館 1F  
2580 地区ガバナー事務所内 ロータリー囲碁同好会  
専用 FAX 03-3452-1652  
日本支部長 新藤信之